

## ■プログラム名称

上越地域医療センター病院家庭医療後期研修プログラム

## ■プログラム責任者

古賀昭夫（副院長兼総合診療科部長、在宅医療支援センター長）

[kogaakioto@gmail.com](mailto:kogaakioto@gmail.com)

## ■プログラムの概要

### I はじめに

新潟県上越市は人口20万の中都市です。しかし面積の約6割が山間部で、過疎地域の指定を受けています。当院は市が開設者、指定管理者が上越医師会の197床の病院で、1, 2次の医療を担うとともに、診療所の後方支援病院ならびに回復期リハビリテーション病院として機能している病院です。医師不足が顕著な当地域において、地元へ根ざし総合力を有する家庭医を育成することが当院の使命の一つでもあると考えています。

### II 概要

地域の住民に包括的な医療を継続的に提供し、疾病予防やヘルスプロモーションを実践できる家庭医養成を目的とします。また、研修修了者は日本プライマリケア連合学会の実施する専門医認定試験を受験し、家庭医療専門医の取得をめざすことを念頭においています。

### III 一般目標

家庭医療の専門性について理解し、家庭医として実践していくために必要な知識・技術・態度・価値観を習得することができます。

### IV 個別目標

(1) 家庭医療の専門性（患者中心・家族志向の医療を提供する能力、包括継続的効率的医療を提供する能力、地域をケアする能力を理解し実践できる）

(2) 外来診療（系統的な問診技術・身体診察方法を修得し、common diseaseを中心に豊富な臨床能力を身につける）

(3) 訪問診療・在宅医療（患者とその家族のニーズに応じて、地域の介護福祉資源を効果的に利用しながら自宅での生活を支援できる）

(4) 終末期のケア（末期患者とその家族に対して、身体的・精神的・社会的なケアマネジメントを実践できる）

(5) 救急医療（Basic/Advanced Life Support とその後の対応が実践できるようになる）

(6) 地域医療（地域の医療福祉資源を把握し活用できる。また地域の疾病予防・健康増進活動に参画することができる）

(7) 病診、病病連携（各科専門医の専門性を理解・尊重し、連携体制の下で患者の診療にあたることできる）

(8) 医療倫理（医療倫理の知識を習得し、それに基づいて自らの行動規範を考える。Informed Consentを実践できる）

(9) EBM（EBM: Evidence-Based Medicine を理解し、日常診療の場で実践できる）

【 研 修 ロ ー テ ー シ ョ ン 例 】

|     |             |    |    |    |    |       |     |     |             |    |    |    |
|-----|-------------|----|----|----|----|-------|-----|-----|-------------|----|----|----|
| 1 年 | 4月          | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月    | 10月 | 11月 | 12月         | 1月 | 2月 | 3月 |
| 目   | 内科研修（総合診療科） |    |    |    |    | 小児科研修 |     |     | 家庭医療（総合診療科） |    |    |    |

|     |               |    |    |    |    |    |                 |     |     |    |    |    |
|-----|---------------|----|----|----|----|----|-----------------|-----|-----|----|----|----|
| 2 年 | 4月            | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月             | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 目   | 家庭医療専門研修（診療所） |    |    |    |    |    | 家庭医療専門研修（総合診療科） |     |     |    |    |    |

|     |      |    |    |        |    |    |         |     |     |             |    |    |
|-----|------|----|----|--------|----|----|---------|-----|-----|-------------|----|----|
| 3 年 | 4月   | 5月 | 6月 | 7月     | 8月 | 9月 | 10月     | 11月 | 12月 | 1月          | 2月 | 3月 |
| 目   | 外科研修 |    |    | 整形外科研修 |    |    | リハビリ科研修 |     |     | 内科研修（総合診療科） |    |    |

※総合診療科を研修の場とし、内科、家庭医療専門研修を行います。内科研修では指導医がそれぞれ得意とする分野（糖尿病、腎臓、消化器、循環器、膠原病、東洋医学など）に関連して指導を受けることができます。外科、整形外科、リハビリ科研修においても所属は総合診療科とし、プログラム責任者と常にコンタクトをとる体制を整えています。

※清里診療所では毎週1回プログラム責任者が診療所に出向き、ポートフォリオ形式のフィードバックを行います。

※研修期間を通じ、医師以外の当院職員（看護師、介護福祉士、社会福祉士、臨床検査技師、薬剤師、診療放射線技師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚療法士、事務職）、上越市健康福祉部職員（保健師など）、病院利用者（特に糖尿病患者会会員）にも家庭医療研修について理解を深め、協力してもらう体制を整えています。

■研修期間

3年間

■後期研修医定員

1年あたり1名

■プログラム内容

| 家庭医療専門研修 |              |  |                  |
|----------|--------------|--|------------------|
| 研修領域     | 期 間          | 研修施設名  | 学会認定指導医氏名        |
| 家庭医療専門研修 | 1 年 3 ヶ<br>月 | <input type="checkbox"/> 診療所 <input checked="" type="checkbox"/> 病院<br>上越地域医療センター病院総合診療科           | 古賀昭夫             |
|          |              | <input checked="" type="checkbox"/> 診療所 <input type="checkbox"/> 病院<br>国民健康保険清里診療所<br>清華ファミリークリニック | 古賀昭夫<br><br>渡辺裕美 |

| 必修の領域別研修 |     |                 |       |
|----------|-----|-----------------|-------|
| 研修領域     | 期 間 | 研修病院名・診療科名      | 指導医氏名 |
| 内 科      | 9ヶ月 | 上越地域医療センター病院 内科 | 野尻義文  |
|          |     |                 | 吉川俊史  |
|          |     |                 | 関口展代  |
| 小 児 科    | 3ヶ月 | けいなん総合病院 小児科    | 小川直子  |

| 望ましい領域別研修            |                      |                            |              |
|----------------------|----------------------|----------------------------|--------------|
| 研修領域                 | 有無, 選択・必修の別<br>および期間 | 研修施設名・診療科名                 | 指導医氏名        |
| 一般外科                 | 必修<br>3ヶ月            | 上越地域医療センター病院<br>外科         | 石橋敏光         |
| リハビリテーショ<br>ン科       | 必修<br>3ヶ月            | 上越地域医療センター病院<br>リハビリテーション科 | 渡辺俊雄<br>野崎和也 |
| 診療所（家庭医療専<br>門研修として） | 必修<br>6ヶ月            | 国民健康保険清里診療所                | 畠山牧男<br>古賀昭夫 |

### ■後期研修医の評価方法

各科研修中に、ポートフォリオ形式のフィードバックを必須とします。

- (1) 週1回、印象に残った症例、事例についての報告を行います。
- (2) 各科研修終了時に、あらかじめ研修医自身が決めたポートフォリオエントリー項目に関して報告を行います。
- (3) 年次終了時に、総括的な報告を行います。

報告された内容に対し、指導医、スタッフとディスカッションし、フィードバックを受けます。以上の報告やディスカッション内容、ならびに研修に対する取り組み姿勢を評価対象とします。なお各地で開催されるポートフォリオ研修会、発表会への参加を必修義務とします。

### ■プログラムの質の向上・維持の方法

他県研修プログラム施設（石川勤労者医療協会城北病院）などと交流し、研修プログラムの評価改善を行います。

産婦人科、精神科、皮膚科、耳鼻科などの研修は、研修医の能力と希望に応じて近隣医療機関に依頼することとしています。

### ■プログラムの連絡担当者

安達 仁（広報企画課 課長補佐）

[adachi@j-icen.or.jp](mailto:adachi@j-icen.or.jp)

〒943-8531 新潟県上越市南高田町 6-9 上越地域医療センター病院

TEL 025-523-2131 FAX 025-522-3377